

2016年11月7日

福岡県と「がん対策推進企業等連携協定」を締結

第一生命グループの一員であるネオファースト生命保険株式会社（代表取締役社長：徳岡 裕士、以下「ネオファースト生命」）は、2016年10月13日（木）に、福岡県（知事：小川 洋）と「がん対策推進企業等連携協定」を締結しました。本協定の概要は、以下のとおりです。

◆「福岡県がん対策推進企業等連携協定」概要

（締結の目的）

福岡県とネオファースト生命は、相互に連携及び協力を行い、推進計画に基づく、がんの早期発見をはじめとした取組を推進することにより、県民の健康的な生活の実現を図る。

（主な取組）

- 県民へのがん検診受診啓発の実施
- がん検診の受診啓発やがん患者支援に係る積極的な取組 等

福岡県では、「がんによる死亡者の減少」「すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減および療養生活の質の維持向上」「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」を全体目標に、総合的かつ計画的ながん対策に取り組んでいます。本協定については、この取組の一環として締結するものです。

また、福岡県では、「10年後の自分に健康を届けよう」と題し、健康診断結果などの入力で今後10年間の生活習慣病の発症予測ができるコンテンツなどを提供するインターネットサイト「福岡県健康ポータルサイト」を運営しています。

当社は、上記サイトのチラシを福岡県にお住まいのご契約者さまにお届けする取組もあわせて開始します。

第一生命グループでは保険ビジネス（Insurance）とテクノロジー（Technology）の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する取組を“InsTech”（インステック）と銘打ち、最優先の戦略課題としてグループ全体で推進しています。その一環として第一生命が持つ約1,000万人のお客さま情報を含む医療ビッグデータ等の解析を行い、更なるリスク細分型の商品や、ご加入者の健康増進の取組みの促進につながり、健康寿命の延伸に貢献できるような新たな商品の開発を進めています。

お客さまの最も身近で大きな関心事は、いつの時代も「健康でいたい」という想いです。当社は、お客さまの人生に寄り添う保険会社として、お客さまが生活習慣を見直し、健康維持・増進のきっかけとしていただけるような新しい保険の仕組みをこれからも提供していきます。

以 上